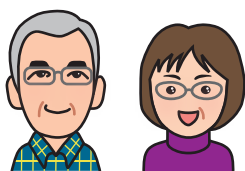


震災の後だから、耐震性能も重視！

夏のエアコン

ほとんど不要の快適住宅



京都府京都市
Hさんご夫妻

Q 前に住んでいた家は、どんな家でしたか？

前は築20年の中古住宅に住んでいましたが、冬、本当に寒かったです。毎晩寝る前に30分、ふとん乾燥機でふとんを温めないと、夜寝られませんでした。

Q それは…つらいですね。



一に耐震性、二に暖かさ、三に遮音性を重視

ガスファンヒーター・電気床暖房・電気オイルヒーター・エアコンを全部使っていたのですが、それでも寒いので、途中で窓を全部複層ガラスに替えました。それでもあまり暖かくなりませんでした。

Q 窓を全て替えても、効果はそれほどなかったんですね。

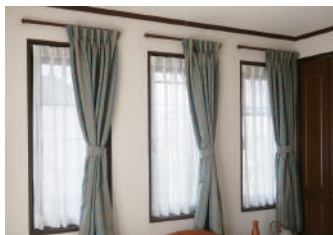
それに壁が薄かったのか、隣近所の声もよく聞こえましたよ。

Q 家を建てられたきっかけは何ですか？

東日本大震災がありましたので、地震に強い家に住みたかったのが一番の理由です。

Q どうやって工務店を探しましたか？

インターネットで「耐震性」と検索して、免震構造を手掛ける工務店のモデルハウスを見に行きました。そのとき屋根の雪が溶けていない映



▲高断熱高気密というと窓の少ないイメージ？いえいえ、Hさん宅は十分な窓が設けられ、明るく開放的です。

像を見せてもらい、天井から熱が逃げていない、つまり断熱性・気密性が高いということを知りました。

Q 引っ越してから、それを実感しましたか？

冬、暖房を夜の数時間つけるだけで、朝まで家中が暖かいです。夏は室内が涼しいので、ほとんどエアコンを使いませんね。あまりにもエアコンを使わないので、この間リモコンの電池が液漏れしていました(笑)。

Q 前の家と比べ、光熱費は変わりましたか？

今の家の方が広くなっているのですが、夏の光熱費は今



▲夏の暑さを遮る複層Low-Eガラス。ガラス板の間にはアルゴンガスが充填され、断熱性が高くなっています。

の方が減っていますね。冬は全館ガス温水床暖房なので、少し増えています。快適さが全然違います。

Q 夏涼しいとのことですが、窓は開けるのですか？

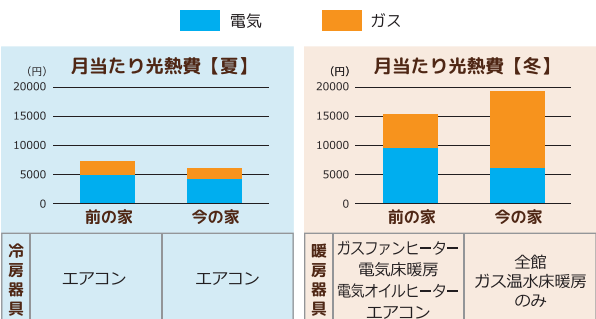
窓は閉めています。熱交換換気システムという機械で、外気を夏は冷やし、冬は温めてから取り込んで、全館の換気が自動的にされているそうです。

Q 家中が同じ温度で、それにとっても静かで、居心地がいいですね。

夜にこの家でピアノを弾いていても、外にはかすかにしか聞こえません。免震構造で安心感があり、温度が快適で、家の中も静か。今の家に、とにかく満足しています。

光熱費は大きく変わらず、快適さは大幅アップ

※前の家に比べ今の家は、延床面積63%増



住宅性能	
築年	2012年
断熱材	EPS
サッシ	樹脂サッシ アルゴンガス充填Low-E複層ガラス
UA値	0.34W/m ² ・K
C値	0.61cm ² /m ²